

飯田下伊那をより豊かな地域に。

そして、長野県の「南の玄関口」として世界に誇る地域に。

みんなの力で 信州大学誘致を実現しよう!

信州大学新学部誘致推進協議会は、当地域の長年の願いである4年制大学の誘致に向けて取り組んでいます。

予測困難な時代において、私たちの地域社会を未来ある次の世代へと引き継いでいくためには、

地域としっかりと結びついた高等教育機関が機能を発揮し、地域の活力を生み出していくことが必要です。

大学誘致を実現し、これからの時代や社会の大きな変化に負けない「飯田下伊那らしい未来」とともに創りましょう!

大学の誘致により様々な効果が見込まれます

1. 高度な教育環境の整備・充実

この地で生まれ育った若者が地元暮らしながら大学に進学し、全国から集まる若者や研究者とともに学ぶ高度な教育環境が整います。

2. 大きな経済効果

大学に集まる全国の学生や研究者は、地域の教育のみならず地域社会や地域経済に好影響を与えることが期待されます。

3. 時代をリードする産業振興

当地域の基幹産業であるものづくりや製造業等と大学の連携により、様々な分野の地域産業の振興を図ることができます。

4. 地域の高付加価値化

リニア中央新幹線の開業等により、首都圏・中京圏・関西圏等の外部の知と地域における内部の知の交流が深まり、新たな価値の創造につながります。

長野キャンパス

上田キャンパス

松本キャンパス

伊那キャンパス

信州大学新学部誘致推進協議会(事務局:南信州広域連合)

住所:長野県飯田市追手町2-678 飯田合同庁舎5階 TEL:0265-53-7100 E-mail:kouiki@minami.nagano.jp

私たちは引き続き大学誘致に取り組みます

信州大学新学部誘致の経緯と方向性

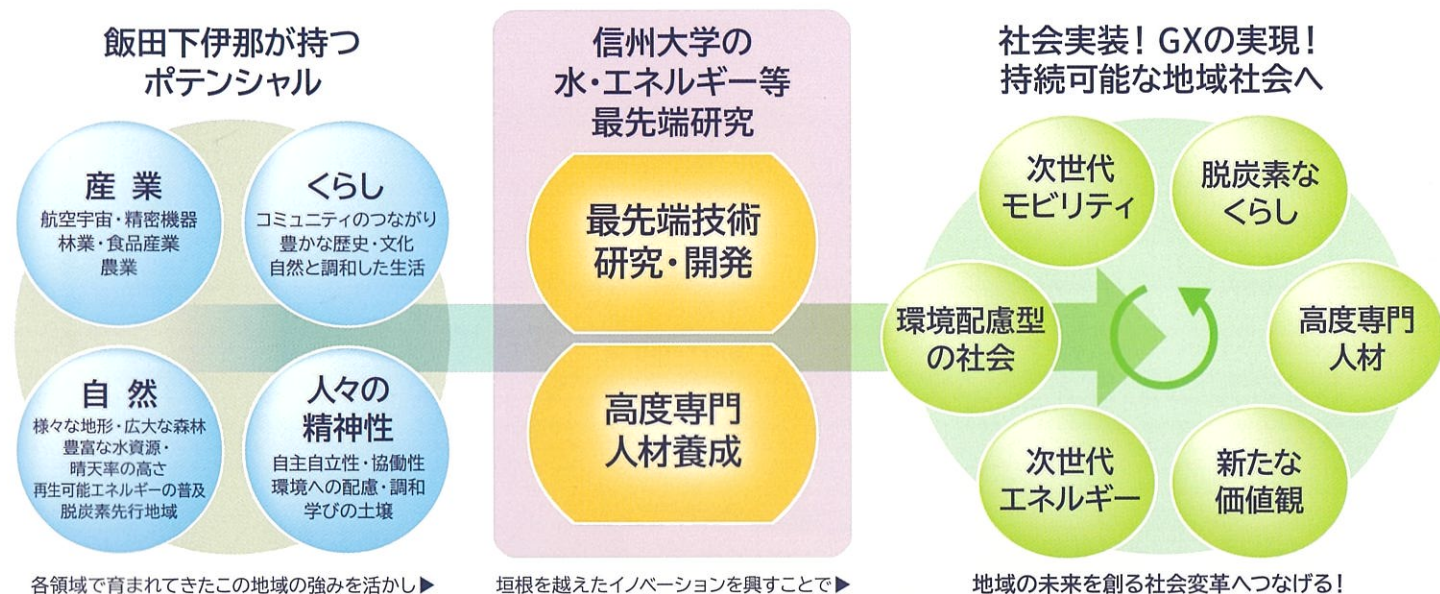
2023年8月3日、信州大学はホームページに「情報系人材の養成は新学部ではなく理工系の大学院の拡充で対応する」「引き続き社会に求められる人材養成の強化充実に向けて検討を進めていく」という旨の中村学長のコメンを掲載しました。

当推進協議会としては、情報系分野以外にも視野を広げ、当地域の強みや特徴を活かすことができ、信州大学が描く方向性にも沿った、より連携を深めることができる分野について検討を行い、誘致活動を継続していきます。

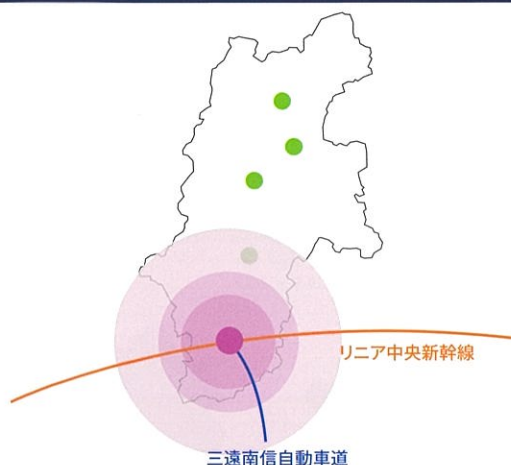
具体的には、信州大学がエネルギー等の特色ある研究を核として県境を越えた広域連携の中心的存在となることを目指す「グレーター・ユニバーシティ・ビジョン」に着目し、GX等の環境系領域における4年制大学誘致を推進していきます。

GXの観点から見た飯田下伊那地域の優位性と4年制大学の存在

私たちの暮らす飯田下伊那は、南アルプスの豊かな自然環境に抱かれ、それらと調和した人々の営みが連綿と受け継がれてきた、文化の薫り高い地域です。当地域特有のこうした風土は、世界的な気候変動に直面する現代社会において、人々が自らの在り方を改めて見つめ直し、環境と人のくらしの共生・調和の再構築により脱炭素社会を目指すGX（グリーン・トランスフォーメーション）を牽引するポテンシャルを秘めています。そのような当地域のポテンシャルを最大限に引き出し、活用するための原動力として、4年制大学は重要な存在となります。



日本、そして世界で存在感を示す長野県の南の玄関口「飯田下伊那」へ



リニア中央新幹線や三遠南信自動車道が開通する当地域に4年制大学誘致が実現すれば、大都市圏との強固なネットワークにより地域内外の知の交流が促進され、長野県から日本国内、そして世界に向けて新たな価値を発信する唯一無二の地域の誕生につながります。

- 地域における高等教育・人材養成環境の向上
- リニア開通後のまちづくりの核
- GX等最先端エネルギー領域の発信地
- 内外の知の対流による新たな価値の創造
- 県土の均衡ある発展

信州大学新学部誘致推進協議会では、メルマガ等での情報発信に加え、各種学習会・意見交換会等にも取り組んで参りますので、皆様ぜひご参加・ご協力をお願いします。

信州大学新学部誘致推進協議会入会申込はこちらから▶▶

